

保護者も参加する小学校低学年（学年4クラスを想定しています）の学年集会を企画してみました。2ページ以下に集会の流れが示してあります。参考にさせていただければと思います。

4つの活動の主となる目的を下に示しておきますが、児童の実態等に応じて、目的も活動の流れも変更してください。

## 活動の主な目的

### 1 あいさつゲーム

- ・自分のよさを確認することで、自己肯定感を高める。

### 2 はしれ！はしれ！

- ・協力して活動することで、協調性を高める。
- ・身体接触を通して、友達との心理的な距離を縮め、人間関係を深める。

### 3 ピョンピョンボール！

- ・協力して活動することで、協調性を高める。
- ・友達の失敗に対して、協力的に行動しようという心情を育てる。

### 4 握手でジャンケンまたジャンケン

- ・肯定的に評価されることで、自己肯定感を高める。
- ・友達も一生懸命に活動していたことに気づき、他者理解を深める。

## 4つの活動に共通する目的

- ・活動を通して、楽しい雰囲気をみんなで味わう。
- ・みんなで活動することで、集団への所属感を高める。

## 参考資料

- ・エンカウンターで学級が変わる小学校編（図書文化）  
國分康孝 監修 岡田弘 編集
- ・エンカウンターで学級が変わる小学校編 Part 2（図書文化）  
國分康孝 監修 國分久子・岡田弘 編集
- ・エンカウンターで学級が変わる小学校編 Part 3（図書文化）  
國分康孝 監修 河村茂雄・品田笑子・朝日朋子・國分久子 編集

# 1 あいさつゲーム

(二人組になった児童と保護者が、どんどん相手を変えて挨拶をしていくゲームです。)  
(児童の挨拶がすてきたなあと思った保護者は、ありがとうカードに を記入します。)  
(たくさんの保護者と挨拶ができて、たくさん をもらった児童は、メダルがもらえます。)

準備物 ・ありがとうカード 児童数  
・鉛筆などの筆記用具 保護者数  
・メダル 約30個

あいさつをしましょう！ その1 (大きな声で)

・お母さんたちに気持ちの良いあいさつの仕方を教えてあげよう。

大きな声 お辞儀

話形

子 「おはようございます。」「おはようございます。」

親 「おはようございます。」

子 「僕(私)の名前は・・・です。」「僕(私)の名前は・・・です。」

親 「私は、2年・・・組の・・・(子どもの名前)の・・・(子どもとの続柄)です。」

「名前は・・・です。」

一緒に「今日は思いっきり楽しみましょう。」(握手をしながら)

子どもたちが持っているありがとうカードに保護者が を記入する。

あいさつをしましょう！ その2 (自分の紹介)

・自分で得意だと思うことやカッコいいなあと思うことやすごいなあと思うことなどをお母さんたちに教えてあげよう。

話形

子 「おはようございます。」「おはようございます。」

親 「おはようございます。」

子 「僕(私)の名前は・・・です。」「僕(私)の名前は・・・です。」

親 「私は、2年・・・組の・・・(子どもの名前)の・・・(子どもとの続柄)です。」

「名前は・・・です。」

子 「僕(私)の得意なことは・・・です。」「僕(私)の得意なことは・・・です。」

親 「私の得意なことは・・・です。」

一緒に「今日は思いっきり楽しみましょう。」(握手をしながら)

子どもたちが持っているありがとうカードに保護者が を記入する。

# あいさつゲーム 配置図

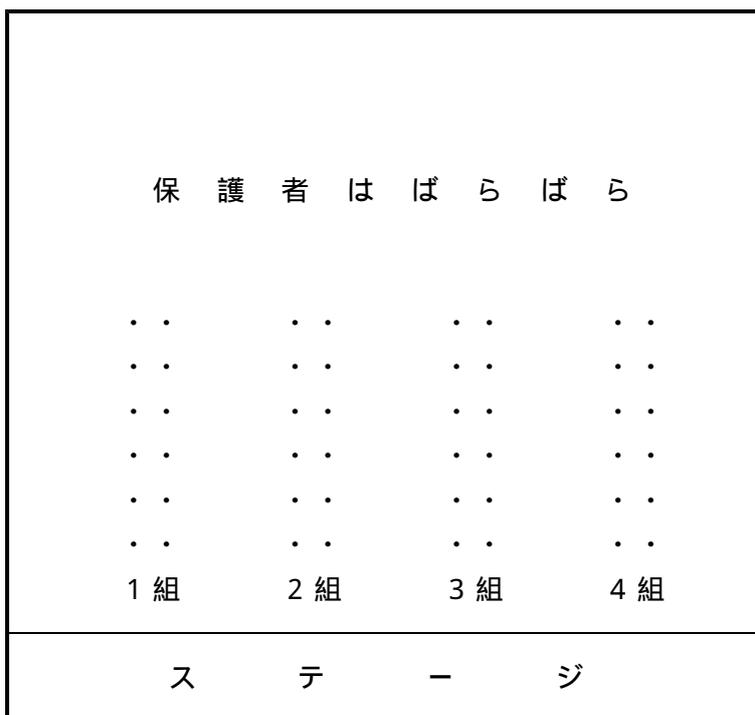
## 保護者

体育館の中をできるだけ広く使って、ばらばらになるように立つ。

## 児童

ステージに向かって二人組ができている状態で並ぶ。

- ・ゲームが始まったら、児童も保護者もばらばらになってもらってかまいません。



## 先生又は保護者の代表の仕事

- ・ゲーム開始前に筆記用具を配布し、ゲーム終了後に回収する。
- ・遅く来られた保護者へのゲーム内容の告知する。
- ・保護者の立つ位置へ案内する。
- ・注意事項を告知する。  
(基本的には をつけてください。あいさつのやり直しはOKです。)
- ・スタートの合図をする。
- ・配慮を要する児童を見守る。
- ・ が少なそうな児童を支援する。
- ・ビデオで記録する。

## 2 はしれ！はしれ！

( クラス対抗 児童クラス別男女別 8 チーム 保護者 2 ~ 4 チーム )

準備物 ・ カラーコーンなどの折り返し点の目印になるもの 24 個  
・ 賞状 8 枚  
・ アンカーだすき 12 本

各チーム一列に並びます。

- 1 「よーい、ドン！」で前にいる意地悪鬼のところに走って行ってジャンケンをします。
- 2 ジャンケンに勝てば、鬼の後ろを回って自分のチームのところに走って戻り、次の人にタッチをします。
- 3 ジャンケンに負ければ、大きな声でチームのみんなに「まけた！」と叫びます。呼ばれたチームの人は、前の人の上に手を置いたまま電車のようにつながってみんなで鬼の後ろを回ります。ジャンケンで負けた人は、みんなが自分のところまで来た時に一番後ろにつながって、みんなと一緒に元の位置に戻ります。
- 4 タッチをされたり、みんなが元の位置に戻ったら次の人がスタートします。
- 5 同じ要領で、最後のアンカーの人までリレーをしていきます。アンカーの人が元の位置に戻ったら全員が座ります。早くアンカーまで終わって、全員が座ったチームの勝ちです。

# はしれ！はしれ！ 配置図

保護者も児童もステージに向かって並ぶ。



鬼はこのコーンの後ろに立ってください。また、その時には自分のクラスの前には立たないで下さい。

## 先生又は保護者の代表の仕事

- ・事前に意地悪鬼役の先生又は保護者を決定しておく。(当日でも可)
- ・ゲーム開始前にカラーコーンをセッティングし、ゲーム終了後に回収する。
- ・クラスごとに保護者の列を作り、アンカーを決定する。  
(一番人数の多いクラスの児童数に合わせて、二回やってもらう保護者を決める。)
- ・鬼になったり、保護者の列の中に入ったりしてゲームを楽しむ
- ・スタートの合図と着順の審判をする。
- ・児童のチームごと列を作り、アンカーを決定する。  
(一番人数の多いクラスの児童数に合わせて、二回やってもらう児童を決める。)
- ・配慮を要する児童を見守る。
- ・鬼になってジャンケンし、ゲームを楽しむ。
- ・ビデオで記録する。

### 3 ピョンピョンボール！

(クラス対抗 児童クラス別男女別 8 チーム 保護者 2 ~ 4 チーム)

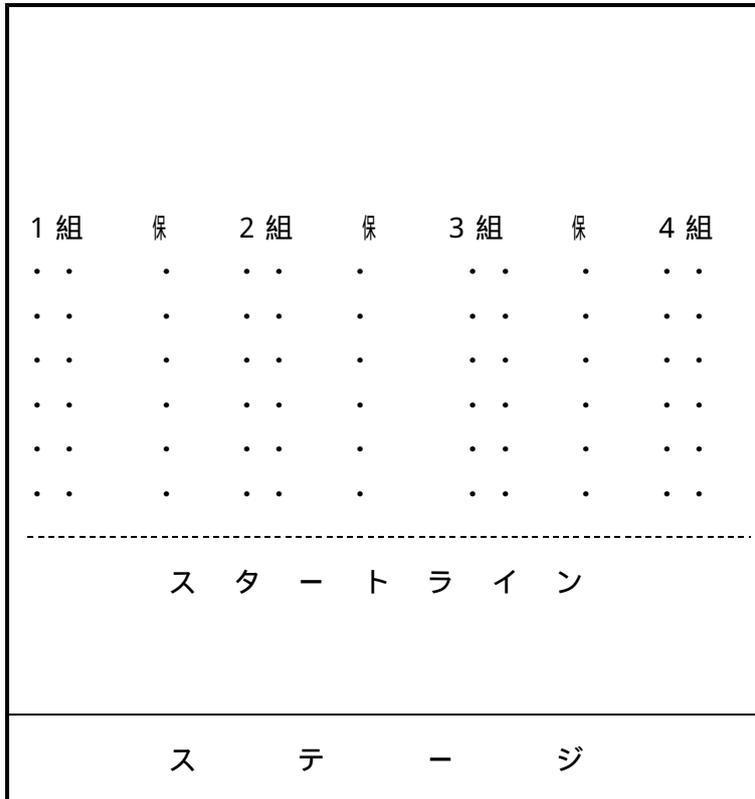
- 準備物
- ・ カラーコーンなどの折り返し点の目印になるもの 24 個
  - ・ 小さめのドッジボール (児童用) 8 個
  - ・ 大きめのバスケットボール (保護者用) 4 個
  - ・ 賞状 8 枚
  - ・ アンカーだすき 12 本

各チーム一列に並びます。

- 1 「よーい、ドン！」で後ろの人にどンドンボールをパスしていきます。この時、ボールは必ず両手でもって、頭の上でパスしてください。もしもボールが転がってしまったら、すぐにボールを拾いに行ってその続きから始めてください。
- 2 一番後ろの人までボールがわたったら、一番後ろの人は後ろのカラーコーンをボールを持ったまま走って回ってきます。
- 3 みんなのところに戻ったら、みんなの足の間にボールを転がして、列の前まで運びます。この時、途中で引っかけたり、列の外にボールが転がったりしたら、ボールを転がした一番後ろの人がそこからもう一度ボールを転がしてください。足を広げている人がボールを動かそうとしてはいけません。
- 4 一番後ろからボールを転がした人は、ボールと一緒に列の一番前に動きます。全員の足の間をボールが通ったら、前のカラーコーンをボールを持ったまま走って回ってきます。
- 5 列の一番前に戻ったら、最初と同じ要領で (ボールは必ず両手でもって、頭の上で後ろの人にパス) 後ろの人にボールをパスしてください。そして、最後のアンカーの人までリレーをしていきます。アンカーの人が元の一歩前の位置に戻ったら全員が座ります。早くアンカーまで終わって、全員が座ったチームの勝ちです。

# ピョンピョンボール！ 配置図

保護者も児童もステージに向かって並ぶ。



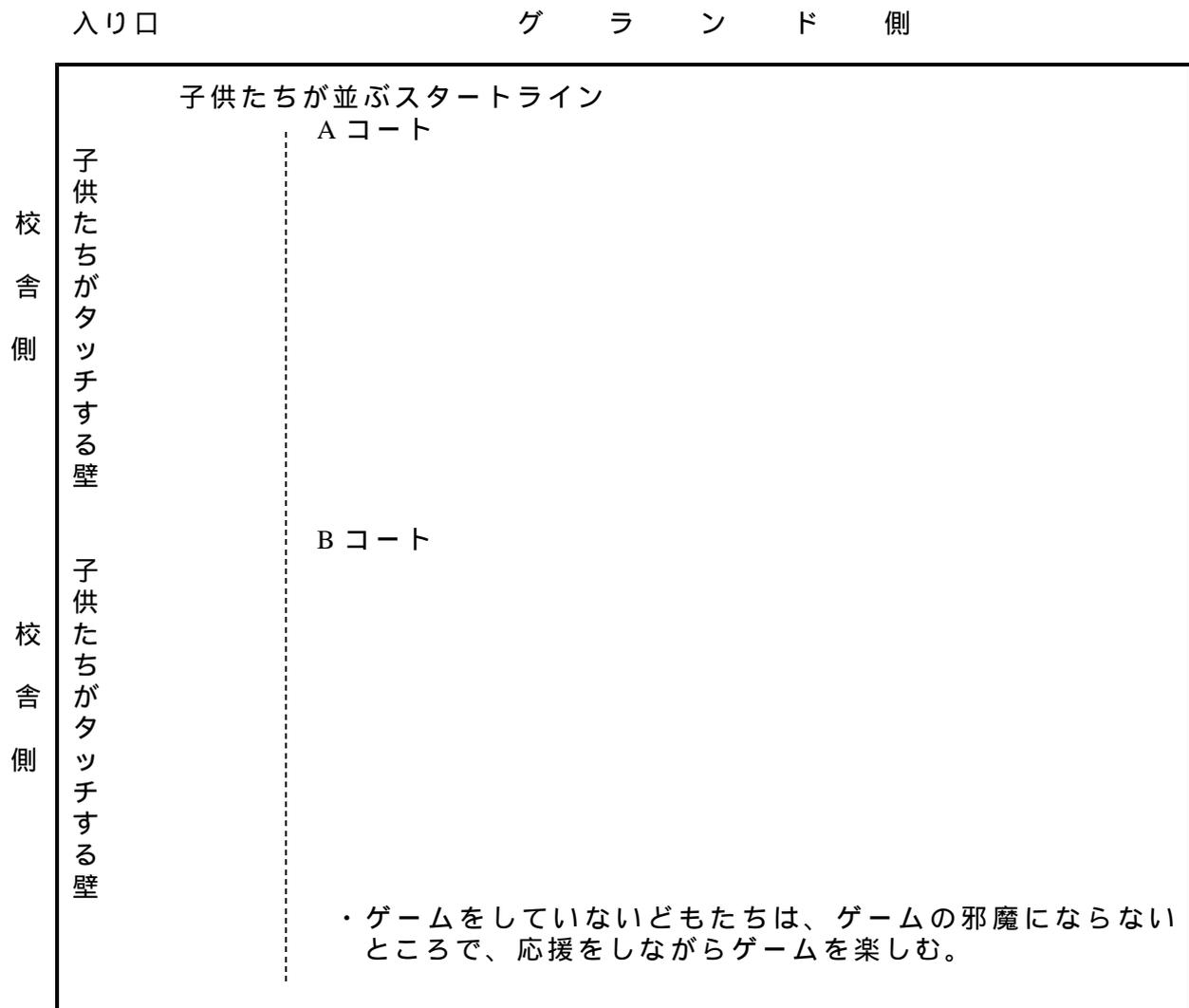
先生又は保護者の代表の仕事

- ・ゲーム開始前にカラーコーンをセッティングし、ゲーム終了後に回収する。
- ・クラスごとに保護者の列を作り、アンカーを決定する。  
(一番人数の多いクラスの児童数に合わせて、二回やってもらう保護者を決める。)  
(二回やってもらう人は前のゲームで二回やっていない方がいいと思います。)
- ・保護者の列の中で一緒にゲームを楽しむ。
- ・ビデオで記録する。
- ・スタートの合図と着順の審判をする。
- ・児童のチームごと列を作り、アンカーを決定する。  
(一番人数の多いクラスの児童数に合わせて、二回やってもらう児童を決める。)
- ・配慮を要する児童を見守る。
- ・児童の列の中で一緒にゲームを楽しむ。



# 握手でジャンケンまたジャンケン 配置図

体育館を上から見た図（ は保護者の立つだいたいの位置です。）



## 先生又は保護者の代表の仕事

- ・クラスごとにだいたいの位置に集まって、応援してもらうようにお願いする。
- ・対戦チームの保護者に図のように並んでもらう。  
(人数が足りない場合は、他のクラスの方をお願いして参加してもらう。)
- ・保護者の中で一緒にゲームを楽しむ。
- ・ビデオで記録する。
- ・スタートの合図と勝敗の判定をする。
- ・ゲームの進行に従って、担任をしているクラスの児童を誘導する。
- ・配慮を要する児童を見守る。
- ・児童の中で一緒にゲームを楽しむ。

## その他の配慮事項

- ・当日の司会進行を決定しておく。
- ・司会用のワイヤレスマイクを準備してください。
- ・時間が足りないようだと、ゲームのいくつかを省略する。

# ありがとうカード あいさつをしましょう！

その1



その2



# 賞状

賞

チーム

あなた方は、チーム全員の力を一つにまとめて、大変すばらしいせいせきをおさめることができました。あなたがむちゅうになってがんばっているすがたは、お家の人たちにとても大きな感動をあたえることができました。みんなのがんばりは、世界一だと思えます。

よってここに賞状をおくり、そのがんばりにみんなではく手をおくりたいと思えます。二学期も、三学期も、今のがんばる気持ちをけっしてわすれないでください。

平成 年 月 日  
年生学級担任一同